

CD クリーナーの効果(5)
ーアナログプレイヤーへの適用(1)ー

1. 始めに

前報(4)に引き続き、今回はアナログプレイヤーへの適用の効果を確認します。

2. CD クリーナーの試聴計画

メーカーの紹介では、アナログプレイヤーのアームやカートリッジのシェルへの適用も可能ということでトレースしてみます。

アームは GRANZ の MH-9Bt で、このアームとヘッドシェルと LP-12 のセンタースピンドルを処理対象とします。

今回は、前報(4)に引き続いての試聴で、前報(4)で述べたように、盤の帯電や微振動対策を行っており、さらに盤の処理も行っていますので、さらなる上乘せ効果があるかどうかポイントです。

今回の再生系は、次のとおりです。

LINN LP12→ZANDEN Model 120→Brooklyn DAC+→TruPhase

試聴するアナログ盤は前報(4)でも使用し、CD クリーナーで処理したもので、次のとおりです。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein (Vn)

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

EMI AA 9117・C

フリードリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

3. CD クリーナーの試聴結果

最初に CD クリーナーの処理なしで聴いておき、処理後に聴き直します。

CD クリーナーのアームの処理は、アームのパイプと支持部とカウンターウエイトに

ついて行いました。

前報(4)に引き続いての試聴で、アナログ盤は前報(4)における CD クリーナーの処理済です。

バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータでは、ミルシュテインのヴァイオリンの細かいボウイングの様子が分かりやすくなると同時に力強さがでてきています。

ベートーヴェンの三つのピアノソナタ（選帝侯のソナタ）では、アンダのピアノに力強さと輝きがましています。

ワーグナーのワルキューレでは、オーケストラのパートの分離がよくなり、歌手の声に張りがでて、低域の押出が強くなっています。

ヘンデルのメサイアでは、合唱の迫力が増し、弦の滑らかさが向上し、ソプラノやバスの歌唱が伸びやかとなり、全体を通して通奏低音が明瞭になっていることが分ります。

なお、GRANZ の MH-9Bt のパイプ内の芯線は、炭素繊維のチューブ内を通り、外界からの電磁波や振動に対して保護されていますが、それでも効果があったと言えます。

以上から、アナログの試聴では、盤と同時に、シェルやアームにも同時に処理するのが良さそうです。

4. まとめ

前報(4)のアナログ盤の CD クリーナー処理に加えて、シェルやアームにも同時に処理する効果を認めました。

以上